

日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会・日本小児期外科系関連学会協議会共催

## 第1回乳幼児健診を中心とする小児科医のための研修会 Part II 報告

開催日時：2015年6月28日（日）

開催場所：ハーネル仙台 蔵王

（所在地）〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町2丁目12-7

参加費：共催4団体の会員医師 4,000円、

共催4団体の会員以外の医師 6,000円、

非医師 4,000円

参加者数：130名

共催：日本小児科学会・日本小児保健協会・日本小児科医会・

日本小児期外科系関連学会協議会

今回の研修会は、1か月児健診、4か月児健診、1歳6か月児健診、3歳児健診を各1時間、3歳児検尿の講演を40分というプログラムで行った。本委員会では平成25年度から26年度にかけて4回の乳幼児健診の研修を実施し、それに対するアンケート調査を行っている。そのアンケート調査の結果において、異常所見のとり方と解釈、子育てに対するアドバイスを加えてほしいという要望が強かったため、今回の研修会では各健診の講演時間を十分に確保するというプログラムとした。そのために、最も土台となる「乳幼児健診の総論」の時間がなくなったため、平岩幹男講師のご好意により、昼食の時間に総論の講演を行うといった、実に時間的にタイトな研修会となった。

各健診の時間を十分に確保したためか、各講演は丁寧で、強調したいところを十分に強調したメリハリのあるものであった。質問の時間も確保できた。どの講演に対しても実際の具体的な質問があり、講師とのやり取りの中で理解を深めることができ、参加者の満足度は高かったと思われる。

本研修会の一つのセールスポイントは、実際の健診のビデオを供覧することである。スライドで健診のポイントを聞きながら、ビデオで健診のやり方や手順を確認するという方式は、非常にわかりやすく、また魅力的なようで、参加者が身を乗り出して見入っている様子が印象的であった。

1か月児健診の講演では、例えば臍肉芽腫の処置の仕方を懇切丁寧に教示されたし、4か月児健診では、例えば股関節開排制限の所見の取り方が具体的にイメージしやすいように説明されたし、1歳6か月児健診では言葉が少ない子や指示が入りにくい子へのワンポイントアドバイスがあったし、3歳児健診では親に言いにくいことをどのように伝えるかといった技の伝授があったりと、どの講演も演者の先生の経験を踏まえた工夫が見られ、参加者をひきつけるものとなっていた。検尿の話では、これまでの豊富なデータを元に明快な仮説が提案され、3歳児の検尿では先天性腎尿路奇形を主たるターゲットに絞ることや精密健診での尿蛋白/尿Cr比の新しい基準などが示された。

ぎゅっと中身の濃いプログラムであったが、参加者皆さんが熱心に集中されていたのが印象深かった。